



平和の中の影

「語らずに死ねるか！」 中島裕さんの証言(2)

【南千住II竹達浩記者】

中島裕さんは、1944(昭和19)年4月に17歳で陸軍特別幹部候補生に志願し、同年8月満州牡丹江温春、関東軍第9164部隊に配属、1945年8月満州に於いて1年、突然ソ連軍の参戦により我が軍の作戦行動中圧倒的なソ連軍戦車に包囲され、無抵抗で投降し捕虜となった。

「ヤポンスキー、ダモイ(日本人、帰国だ)」

ソ連軍から帰国のために牡丹江の掖河(えきか)に集合の命令が出た。掖河にはソ連による満州中から徴発された物資が埋め尽くされていた。物資は戦後日本の復興のためとの説明であった。長期にわたる貨車の積載

作業も終わり、監視のソ連兵は「ヤポンスキー、ダモイII日本人、帰国だ」と言われ、千名以上の者が帰国に喜び、貨車に荷物のようになり込んで、1945年11月3日掖河を発車した。

逃亡の術なし

列車は排便のために停車し鍵を外されると一斉に飛び出し用を足すが、おかしなことに我々以前に用を足した跡がある。列車の進行方向は西に向かっていて。おかしなこれは騙された強制連行だと気づいても後の祭りであった。

11月18日、ソビエト連邦イルクーツク州タイシエツト地区から45キロ地点の第5収容所に入所した。翌朝所長から「指示に従って仕事をしなさい、絶対逃亡

最後は自分の糞まで食べた

収容所の朝の食事は馬パン150gと、飯盒の中盒に小さな青いトマトが入った塩スープだけ。昼は中盒に一杯のカーシヤ(コーリヤン)や栗や稗IIひえIIなどのお粥)だけ。朝昼一緒に食べてしまう。

昼食は冬には松の皮の下の薄皮を煮て、昆布の佃煮のようにして塩味で食べるがそれすらもできないときがある。その時は、あまりにも空腹でよく噛まないでガツガツ食べるので、消化されないで粒のまま出てきた糞を、飯盒で雪を溶かして何度も洗って食べた。北の国は春と夏が一度に来る。夏の昼食は手当たり次第に青草を炊いて食べ、秋はキノコを炊いて食べるが、毒キノコも何かわからない。満腹で死ぬならそれでいいと思っていた。声がないと死んでいる

訃報



●高崎 良吉さん
12月2日逝去 享年84
(東尾久二・大工)

死亡者の8割が1946年の1月から3月に亡くなっている。夜、喋っていた人の声しなくなる。見ると飯盒と箸を持って死んでいる。朝、起床時に隣が起きないので、声をかけると死んでいる。栄養失調、衰弱死も楽かと思えた。冬の死者は体が凍ってマ



第二次大戦中に日本に張られていたポスターニウィキペディア掲載画像

この亡くなった人々の無念を思うと居た堪れない。誰がこの責任を取るのか、再び繰り返してはならない。中島裕さんは1948年6月14日に復員した。

高崎良吉さんは、1985年から東尾久二分会で分会・群の役員として長きにわたり奮闘、1989年から支部執行委員、専門部長などを務め支部の発展に大きく貢献されました。高崎さんを知る分会の仲間「温厚な人柄で、だれに対しても優しく接してくれました」と生前を振り返りました。謹んでご冥福を申し上げます。



●星野 長生さん
12月6日逝去 享年90
(荒川・左官工)

星野長生さんは、1980年から荒川分会で分会・群役員として長きにわたり

奮闘、1982年には支部執行委員、83年から支部教宣部長、賃金対策部長、大会準備委員長、支部の副委員長を務め支部の発展に大きく貢献されました。星野さんを知る仲間は「面倒見が良くこまめな人で、だれに対しても優しく組合拡大には積極的に参加をしてくれました」と生前を振り返りました。謹んでご冥福を申し上げます。

商品をお求めの際は、支部事務所までご連絡ください。フルハーネス原則使用義務化旧規格に基づく安全帯(胴ベルト型・フルハーネス型)を使用できるのは2022年1月1日までです。

フルハーネス

3M DBI-サラ エグゾフィット ライトフルハーネスH型

3M DBI-サラ エグゾフィット ライトフルハーネス回転式

3M DBI-サラ Nano-Lok Light 巻き取り式ランヤード シングル

3M DBI-サラ EZ-Stop 伸縮式ランヤード1丁掛け

3M DBI-サラ EZ-Stop 伸縮式ランヤード2丁掛け

蛍光シールプレゼント

3M ランヤードフック用 視認性シール

数量限定

3M フルハーネスのご案内

東京土建一般労働組合様向け

ランヤード安心ストックキャンペーン

2021年2月15日~6月30日

フルハーネスの運用をより安全に 作業中の負担を軽減する大幅な軽量化

落下検知時の非常に早いロック機能